

平成29年度中間期 決算概要

平成29年11月13日

このページは空白です。

目次

業績ハイライト 3

平成29年度中間期決算

* 特に表示がないものについては「銀行単体」の計数を記載しております。

29年度中間期決算の概要	4
コア業務粗利益	5
資金利益、預貸金等の平残・利回り	6
貸出金(1)(2)(3)	7-9
預金	10
預り資産	11
有価証券運用(1)(2)	12-13
経費・OHR	14
信用コスト・開示債権	15
統合シナジーの進捗	16
グループ会社(めぶきリース・めぶき証券)	17

平成29年度業績見通し

29年度業績見通し	18
自己資本比率・株主還元	19

(ご参考資料)

めぶきFG 直近の姿	21-23
地方創生の取り組み	24-25
ESGの取り組み	26

業績ハイライト

29年度中間期実績（P4）

めぶきFG連結中間純利益*は249億円（通期業績予想に対する進捗率 62.3%） * 親会社株主に帰属する中間純利益

2行合算の中間純利益は、コア業務純益が計画を上回ったほか、株価水準等を踏まえ政策保有株式等の売却を先行させたことにより、通期業績予想に対する進捗率は64.7%と高進捗。

経営統合シナジーは、29年度計画27億円に対し、中間期は21億円（進捗率78.9%）と順調に推移。（P16参照）

29年度業績見通し（P18）

29年度業績見通しは、当初公表（29年5月12日）から変更なし。

連結経常利益585億円（前年度比+62億円）、連結純利益* 400億円（同△1,184億円）を計画。

<常陽銀行> 単体純利益230億円（前年度比△14億円） <足利銀行> 単体純利益210億円（同△54億円） * 親会社株主に帰属する当期純利益

配当（P19）

29年度は、配当政策*を踏まえ、年間11円（中間5.5円、期末5.5円）を予定。

* めぶきFG配当政策：グループとしての成長に向けた資本の確保と、株主さまへの適切な利益還元のバランスを考慮し、安定配当を目指す。

29年度中間期決算の概要

● めぶきFG連結

(単位:億円)

(ご参考) 2行合算・常陽銀行・足利銀行の実績

(単位:億円)

	29年度 中間期		業績 予想 (通期)
	進捗率		
経常利益	373	63.8%	585
親会社株主に帰属する 当期(中間)純利益 ①	249	62.3%	400

【連結調整】 $\Delta 56$ 億円 = ② - ①

有価証券連単簿価差に伴う調整額 $\Delta 48$ 億円

劣後ローンの支払利息、経費等 $\Delta 8$ 億円

	29年度中間期						業績予想に対する進捗率		
	2行合算		常陽銀行		足利銀行		2行 合算	常陽 銀行	足利 銀行
	実績	前年 同期比	実績	前年 同期比	実績	前年 同期比			
業務粗利益	949	$\Delta 49$	534	$\Delta 40$	415	$\Delta 9$	51.9%	51.6%	52.2%
資金利益	777	+0	434	+4	343	$\Delta 4$	53.0%	52.9%	53.2%
役務取引等利益	155	+11	89	+12	66	$\Delta 1$	49.4%	51.3%	47.1%
その他業務利益他	16	$\Delta 61$	10	$\Delta 57$	5	$\Delta 3$	33.2%	26.8%	59.1%
(うち国債等債券損益)	5	$\Delta 69$	4	$\Delta 64$	0	$\Delta 4$	17.3%	16.1%	-
経費	571	$\Delta 11$	337	$\Delta 12$	234	+0	48.8%	49.6%	47.7%
うち人件費	300	$\Delta 3$	169	$\Delta 7$	130	+3	-	-	-
うち物件費	228	$\Delta 4$	143	$\Delta 2$	85	$\Delta 2$	-	-	-
実質業務純益	378	$\Delta 38$	196	$\Delta 27$	181	$\Delta 10$	57.2%	55.4%	59.3%
コア業務純益	372	+31	192	+37	180	$\Delta 6$	59.1%	59.0%	59.2%
一般貸倒引当金繰入額(a)	1	+24	$\Delta 3$	+6	5	+17	-	-	-
業務純益	376	$\Delta 62$	200	$\Delta 34$	175	$\Delta 28$	56.5%	55.6%	57.6%
臨時損益	43	+57	33	+44	9	+13	-	-	-
うち不良債権処理額(b)	36	$\Delta 15$	21	$\Delta 3$	15	$\Delta 12$	-	-	-
うち株式等関係損益	92	+26	67	+26	24	+0	142.0%	168.4%	99.7%
経常利益	419	$\Delta 4$	233	+10	185	$\Delta 14$	65.5%	69.7%	60.9%
特別損益	$\Delta 11$	$\Delta 7$	$\Delta 7$	$\Delta 4$	$\Delta 3$	$\Delta 3$	-	-	-
中間純利益	284	$\Delta 7$	157	+2	127	$\Delta 10$	64.7%	68.5%	60.5%
信用コスト (a) + (b)	38	+8	17	+3	20	+5	64.1%	50.9%	82.6%

● 2行合算+銀行業以外のグループ会社

	29年度 中間期		業績 予想 (通期)
	進捗率		
当期(中間)純利益 ②	306	63.7%	480

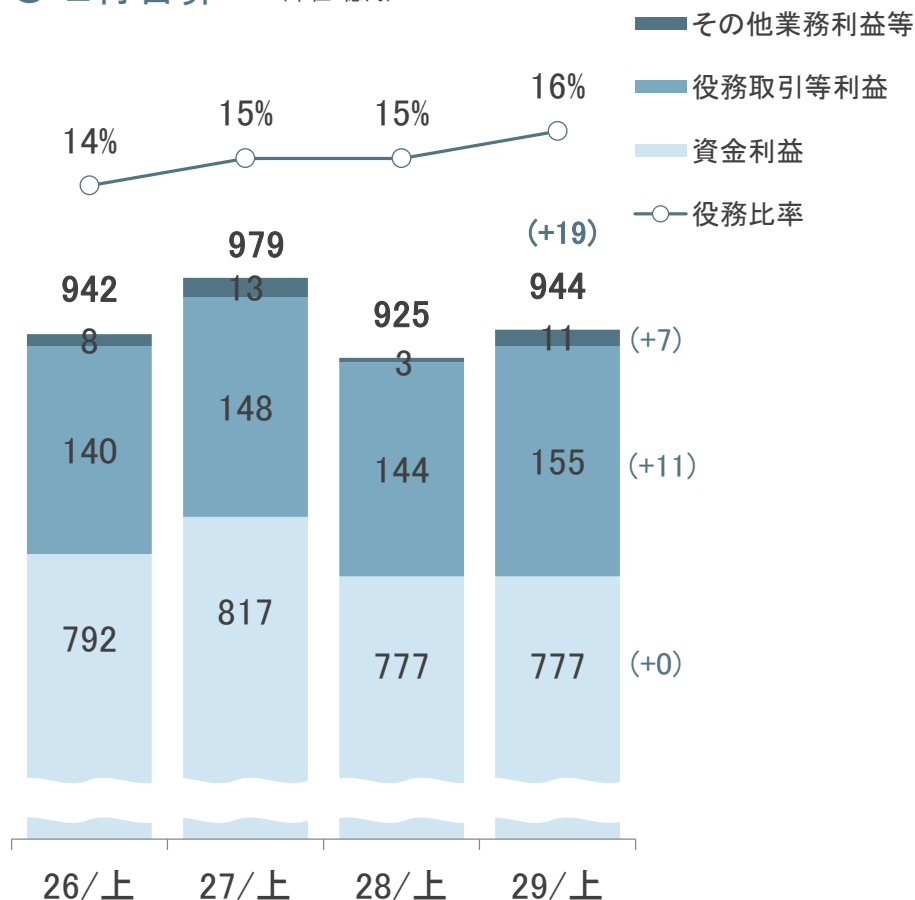
コア業務粗利益(国債等債券損益を除く業務粗利益)

*カッコ内は前年同期比の増減

◇ コア業務粗利益は前年同期比+19億円。コンサルティング営業の強化により法人役務が増加。

● 2行合算

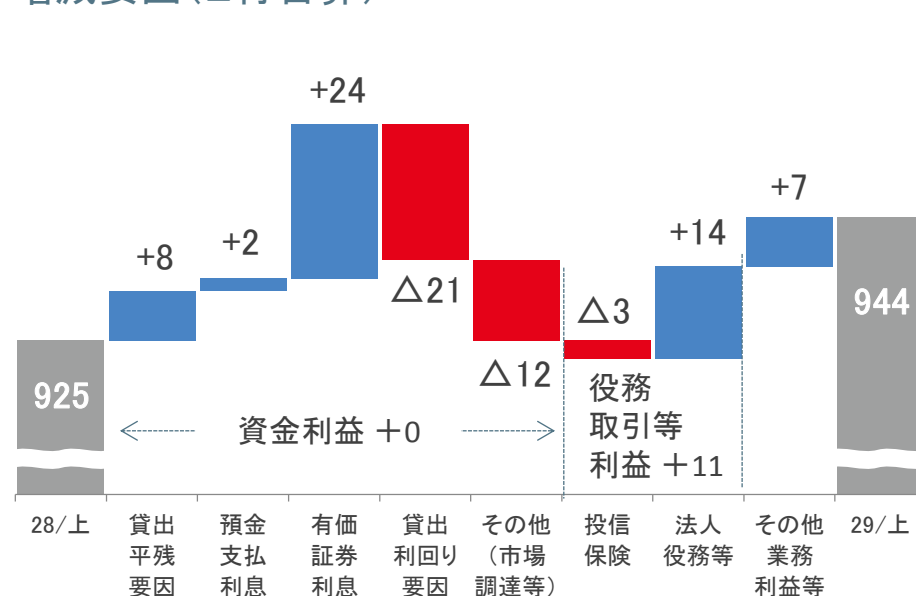
(単位:億円)



* 役務比率 = 役務取引等利益 / コア業務粗利益

● 増減要因(2行合算)

(単位:億円)



(ご参考) 有価証券利息配当金に含まれる私募投信解約益

(単位:億円)

		27年度	28年度	29年度上期	前年同期比
常陽	年度	8	17	5	+4
	(うち下期)	(4)	(16)	-	-
足利	年度	37	36	22	△8
	(うち下期)	-	(4)	-	-

資金利益、預貸金等の平残・利回り(国内+国際)

資金利益の増減内訳(銀行別)

● 常陽銀行

(単位:億円)

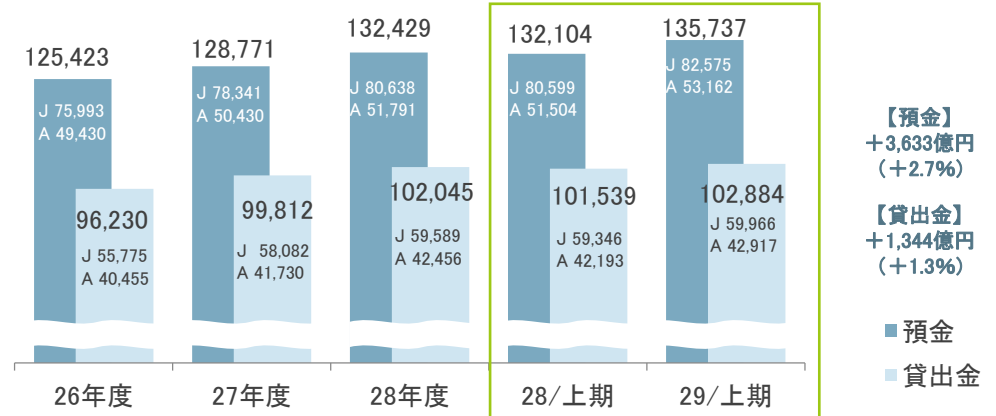
	要因	前年同期比	(国内)		(国際)	
			平残・利回り 変化	平残・利回り 変化	平残・利回り 変化	平残・利回り 変化
貸出金利息	平残	+3	+2	(+389億円)	+1	(+231億円)
	利回り	△7	△10	(△3bp)	+3	(+61bp)
預金支払利息(△)		△0	△1	—	+0	—
有価証券 利息配当金	平残	+1	△0	(△101億円)	+1	(+183億円)
	利回り	+10	+5	(+5bp)	+4	(+21bp)
市場調達・運用等(△)		+4	△5	—	+10	—

● 足利銀行

	要因	前年同期比	(国内)		(国際)	
			平残・利回り 変化	平残・利回り 変化	平残・利回り 変化	平残・利回り 変化
貸出金利息	平残	+4	+3	(+649億円)	+0	(+73億円)
	利回り	△14	△14	(△7bp)	+0	(+86bp)
預金支払利息(△)		△1	△1	—	+0	—
有価証券 利息配当金	平残	+11	+5	(+655億円)	+6	(+514億円)
	利回り	+1	△4	(△7bp)	+5	(+58bp)
市場調達・運用等(△)		+8	+0	—	+8	—

預金・貸出金の平残(2行合算)

(単位:億円)



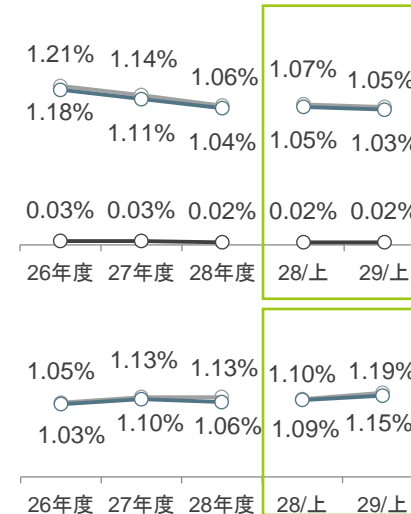
【預金】
+3,633億円
(+2.7%)

【貸出金】
+1,344億円
(+1.3%)

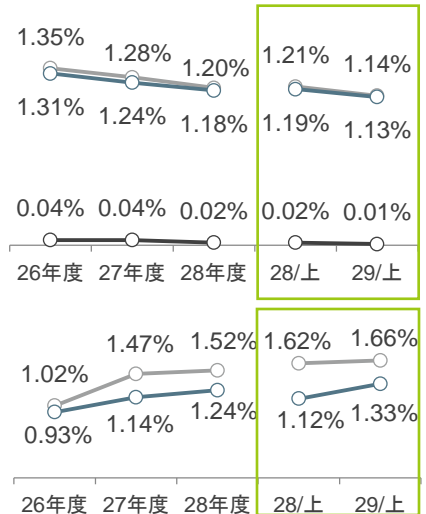
■ 預金
■ 貸出金

利回り

● 常陽銀行



● 足利銀行



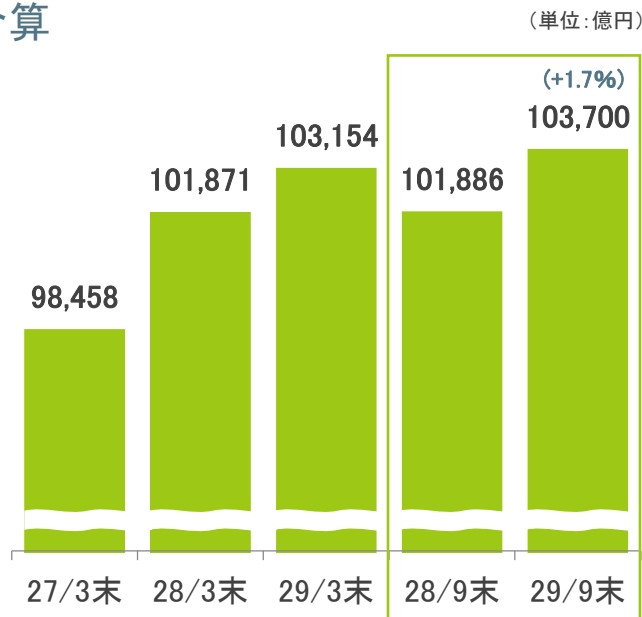
貸出金(1) 人格別末残

* カッコ内は前年同期末比の増減率

◇ 個人貸出金は、前年同期末比+2,382億円(年率+5.7%)。住宅関連ローンは同+2,302億円。(P8参照)

◇ 法人貸出金は、前年同期末比+616億円。地元は同+1,131億円。(P9参照)

● 2行合算



* 個人事業主は「個人」に含む。金融は「法人」に含む。

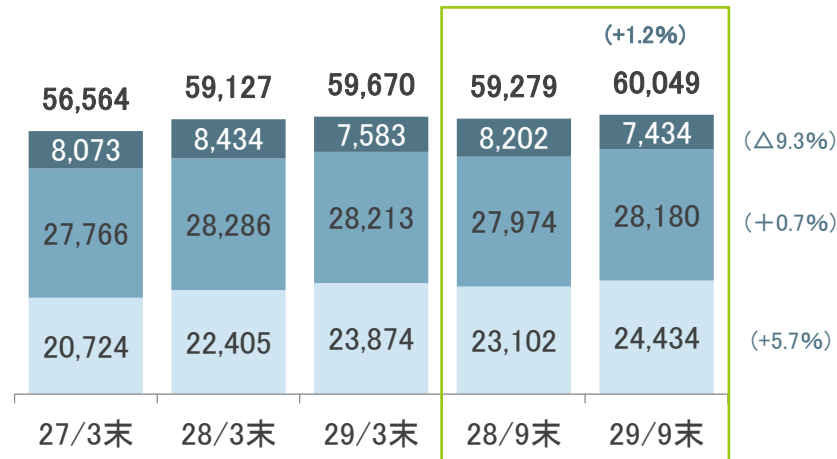
2行合算

	27/3末	28/3末	29/3末	28/9末	29/9末	
個人	37,462	40,256	42,728	41,433	43,816	(+5.7%)
法人	47,722	48,131	48,096	47,738	48,355	(+1.2%)
公共	13,273	13,483	12,329	12,714	11,529	(△9.3%)
合計	98,458	101,871	103,154	101,886	103,700	(+1.7%)

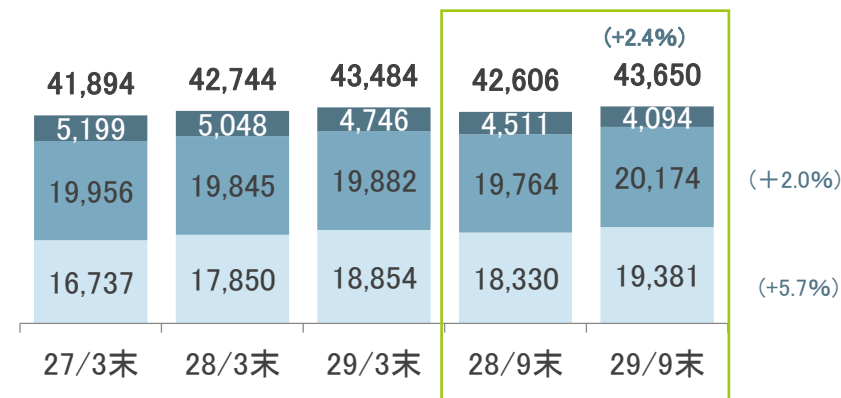
外貨貸出金

常陽銀行	863	988	1,160	906	1,089
足利銀行	55	57	122	41	149

● 常陽銀行



● 足利銀行



■ 公共
■ 法人
■ 個人

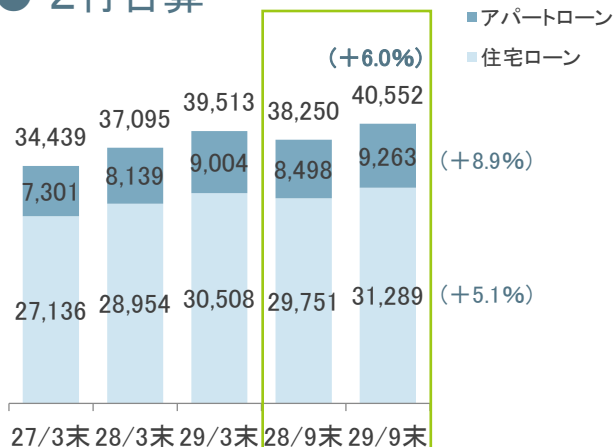
貸出金(2)住宅関連ローン・無担保ローン

* カッコ内は前年同期末比の増減率

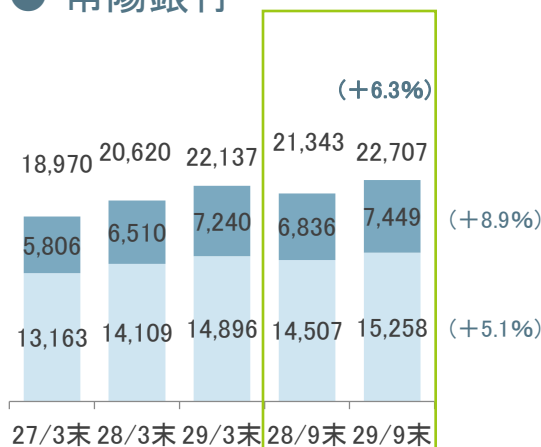
住宅関連ローン未残 (単位: 億円)

* アパートローンは法人向けを含む

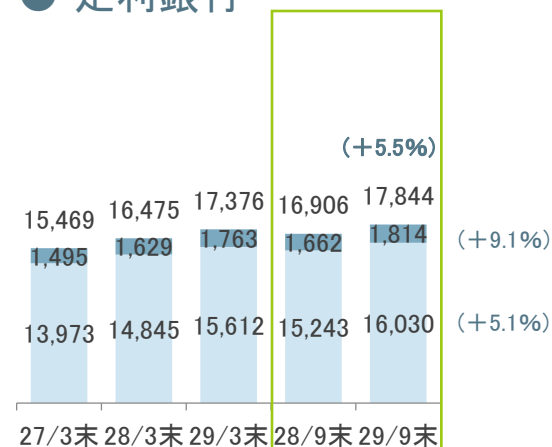
● 2行合算



● 常陽銀行

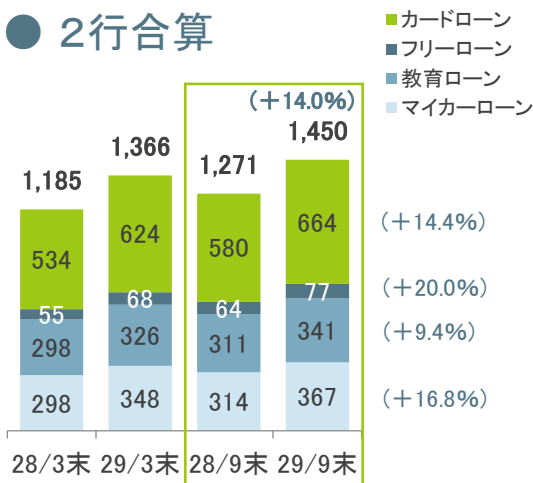


● 足利銀行

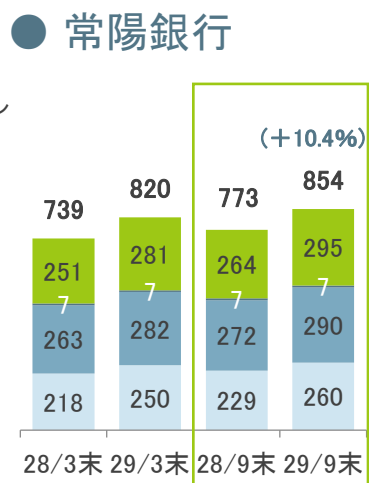


無担保ローン未残 (単位: 億円)

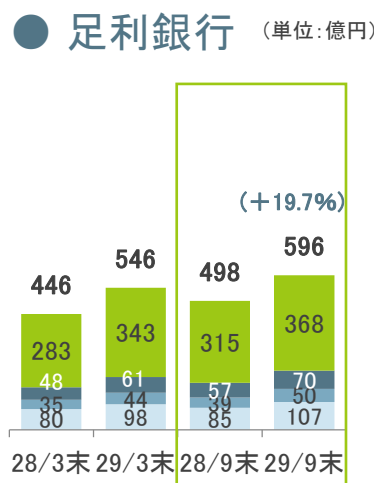
● 2行合算



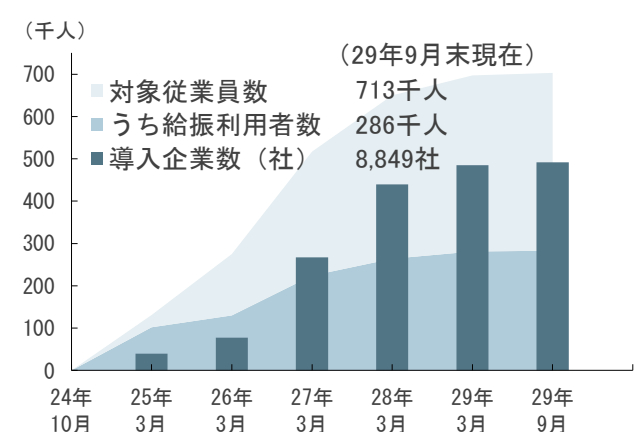
● 常陽銀行



● 足利銀行 (単位: 億円)



職域サイト(常陽銀行)



◆ 足利銀行 29年10月スタート

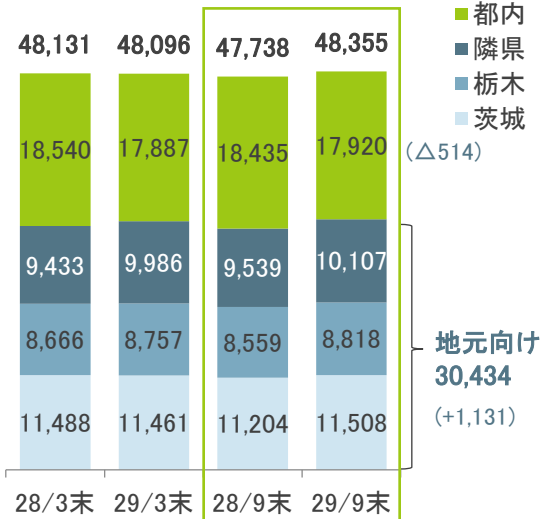
貸出金(3)法人向け(地域別／企業規模別)

* カッコ内は前年同期末比の増減率

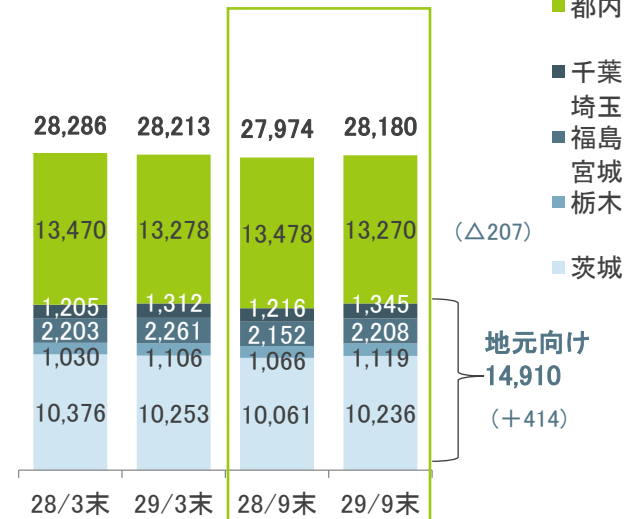
地域別末残

● 2行合算

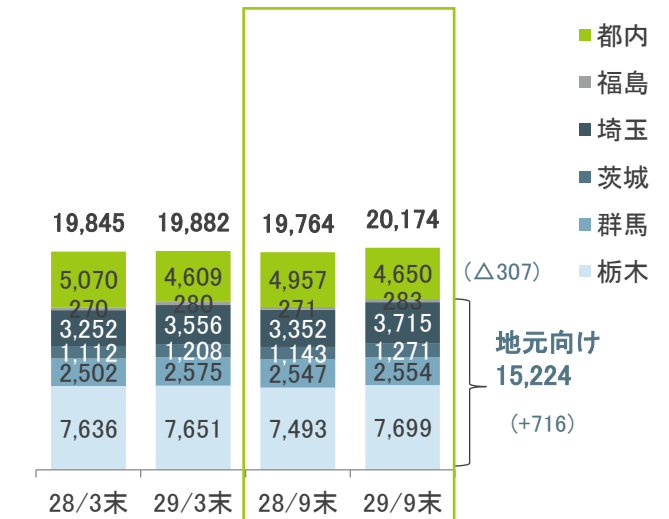
(単位: 億円)



● 常陽銀行



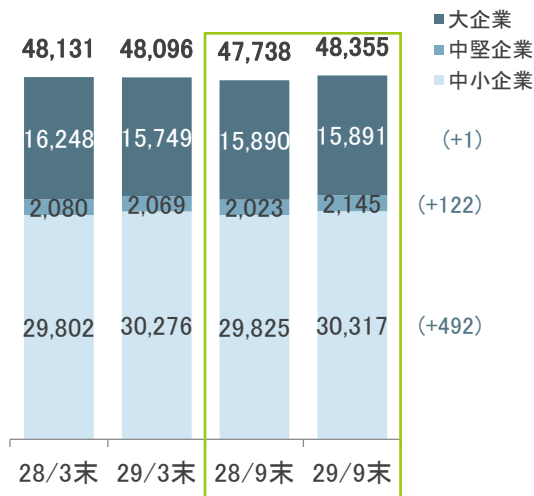
● 足利銀行



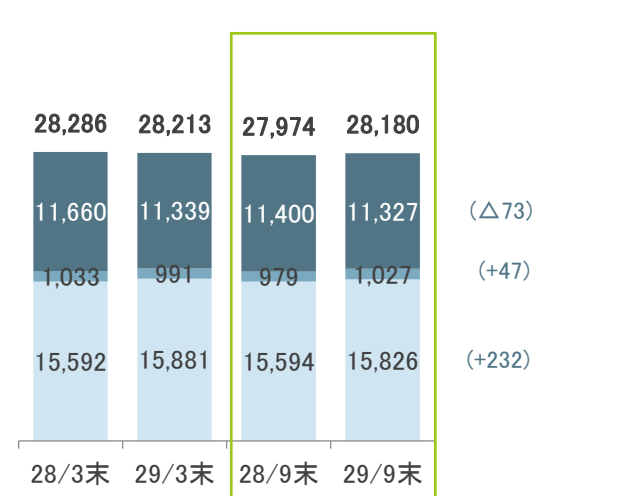
企業規模別末残

● 2行合算

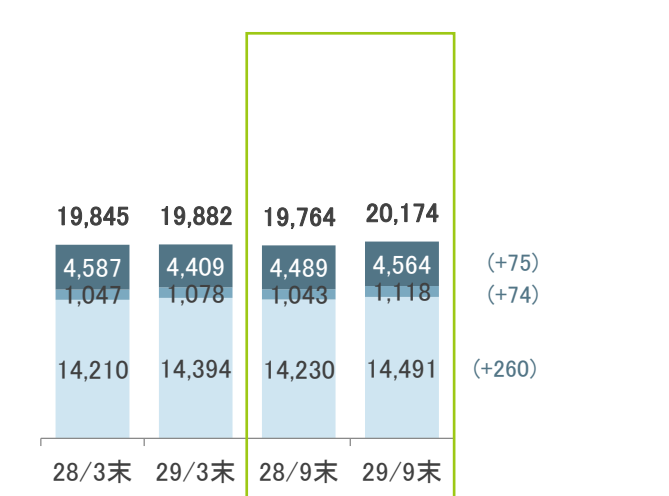
(単位: 億円)



● 常陽銀行



● 足利銀行

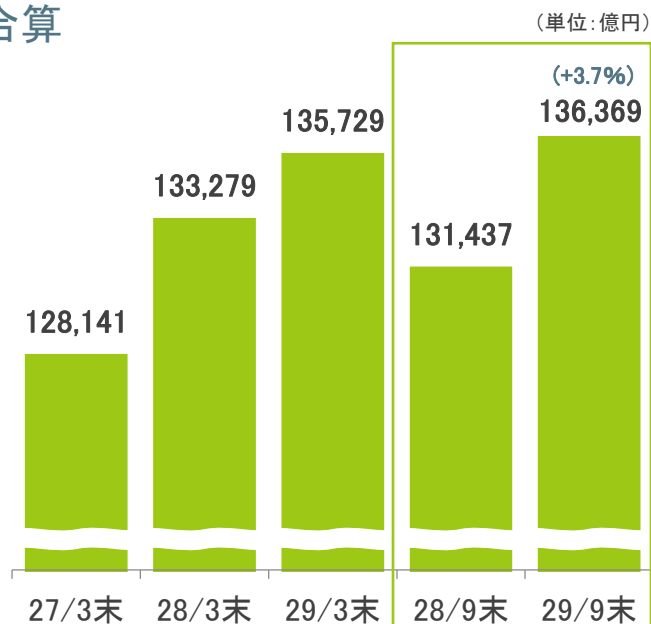


預金 人格別末残

* カッコ内は前年同期末比の増減率

◇ 個人・法人預金は、増加基調を継続(個人:年率+3.5%、法人:年率+4.2%)

● 2行合算



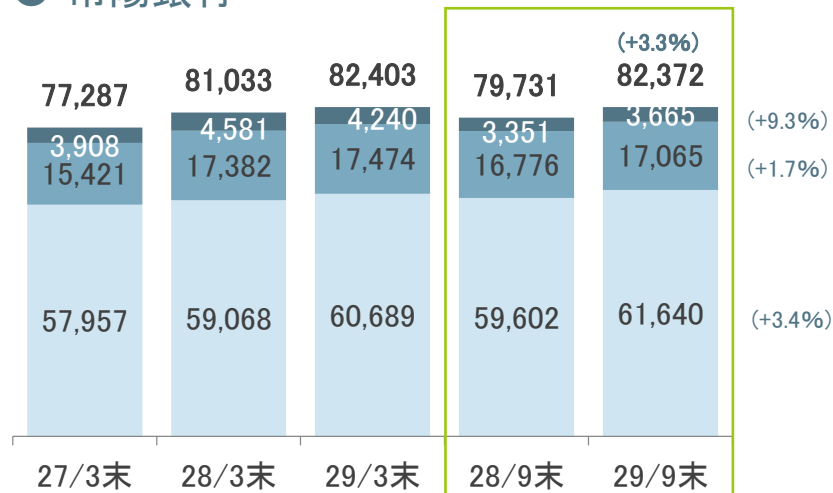
* 1 金融は「法人」に含む。 * 2 外貨預金には、為替予約付外貨預金、オフショア預金等を含む。

	27/3末	28/3末	29/3末	28/9末	29/9末	
個人	93,442	95,026	97,621	95,767	99,148	(+3.5%)
法人	27,419	30,208	30,628	30,054	31,318	(+4.2%)
公共	7,278	8,044	7,480	5,615	5,901	(+5.0%)
合計	128,141	133,279	135,729	131,437	136,369	(+3.7%)

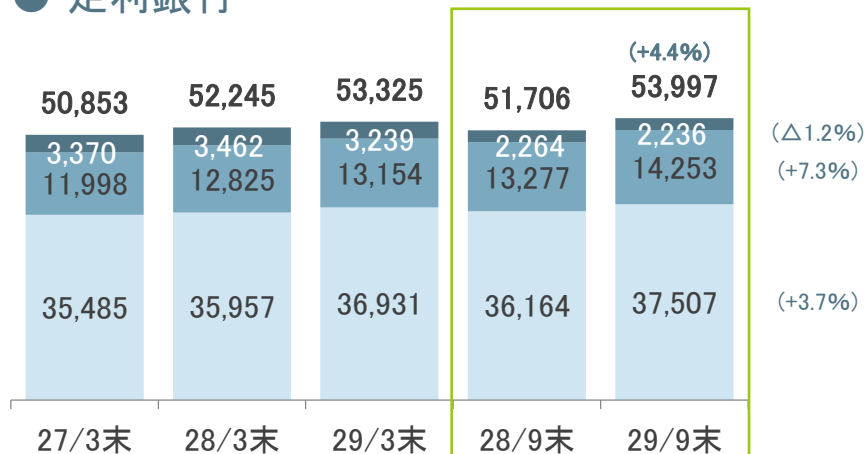
外貨預金

	27/3末	28/3末	29/3末	28/9末	29/9末
常陽銀行	546	1,114	1,407	1,525	1,623
足利銀行	164	163	248	214	642
合計	711	1,277	1,656	1,740	2,265

● 常陽銀行



● 足利銀行



■ 公共
■ 法人
■ 個人

預り資産 残高・手数料

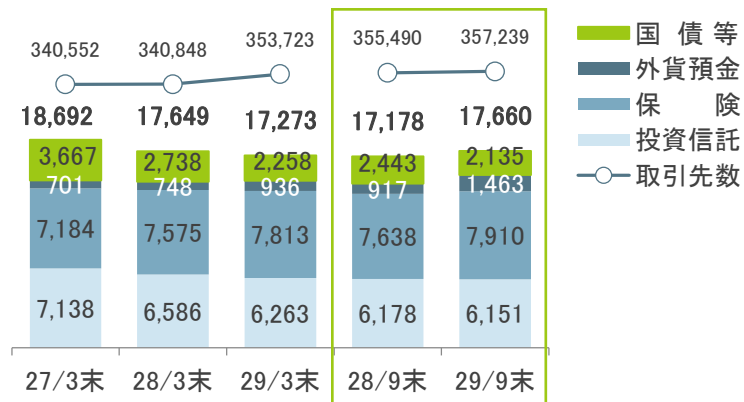
* 外貨預金は、為替予約付外貨預金、オフショア預金
FG発行のドル建てCB見合い分を除く。

- ◇ 預り資産の残高は外貨預金の増加を主因に前年同期末比+2.8%。手数料は保険の減収を主因に減少。
- ◇ 子銀行とめぶき証券の連携強化・シナジー発現により、金融商品仲介の獲得手数料は順調に増加。

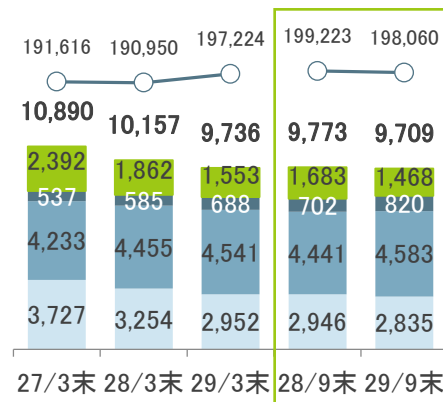
預り資産残高

● 2行合算

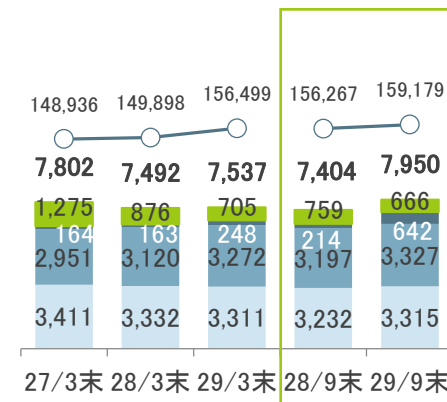
(単位: 億円、先数)



● 常陽銀行



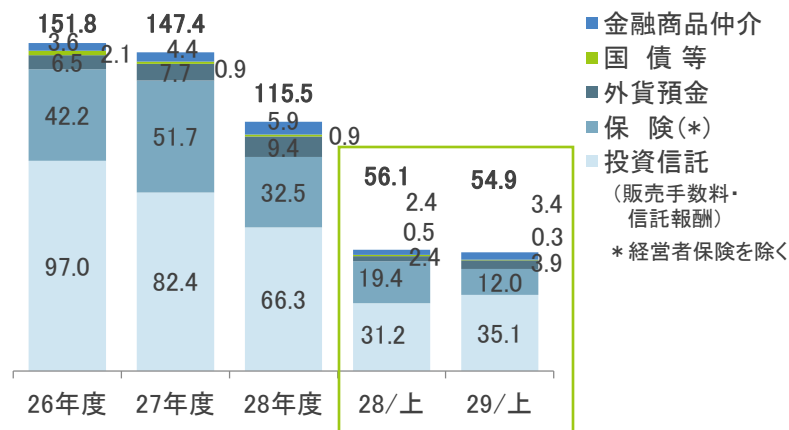
● 足利銀行



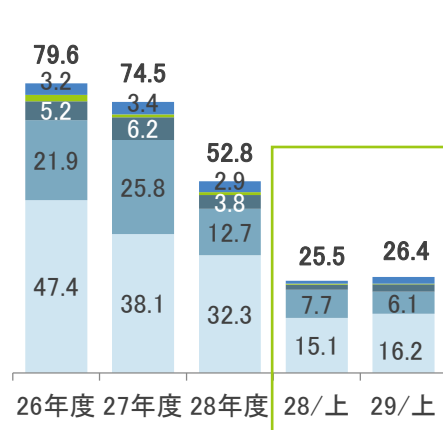
手数料

● 2行合算

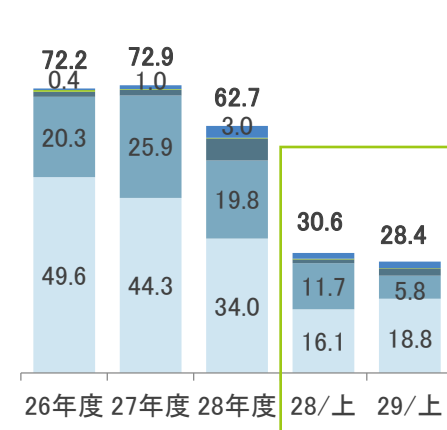
(単位: 億円、先数)



● 常陽銀行



● 足利銀行



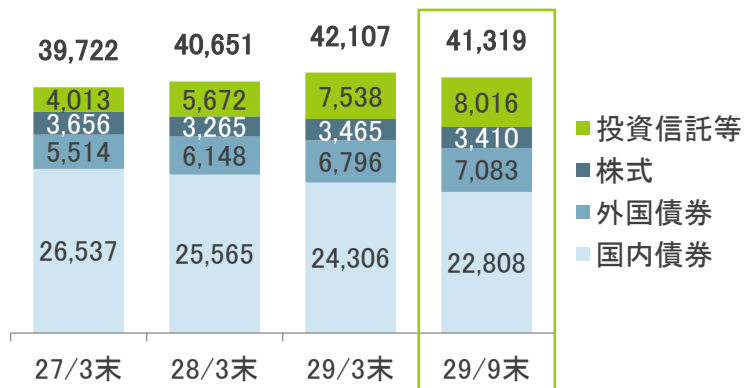
有価証券運用(1)

- ◇ 現状の円金利水準等を踏まえ、国債償還分の再投資を抑制(国内債券残高 29年3月末比△1,497億円)。
- ◇ リスク管理に留意し、投資信託や外国債券等へのポートフォリオ・リバランスを継続。

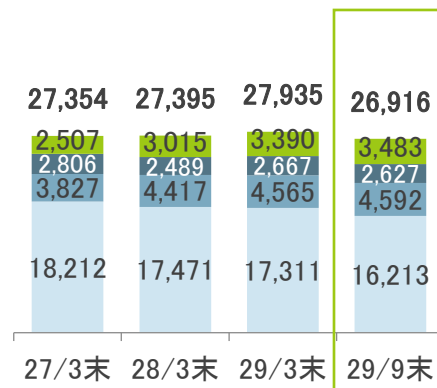
末残
(貸借対照表計上額)

● 2行合算

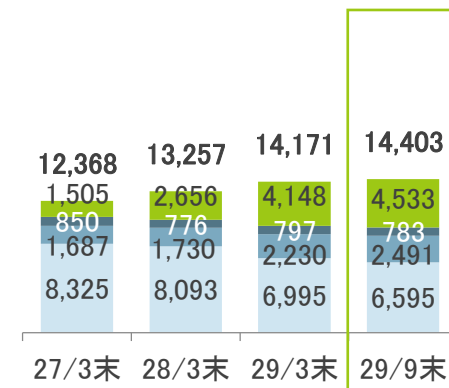
(単位:億円)



● 常陽銀行



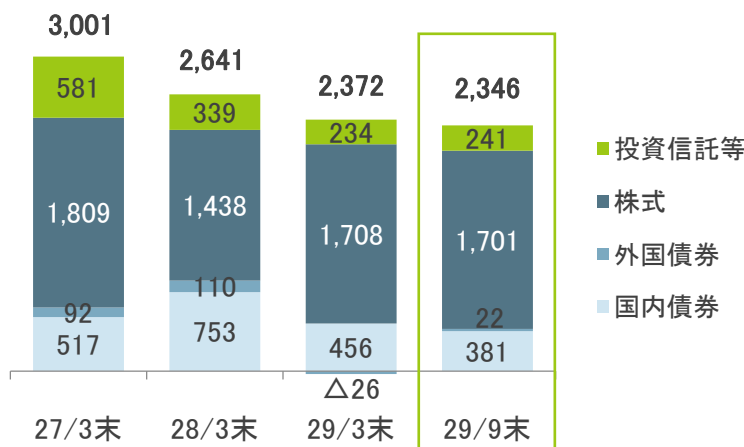
● 足利銀行



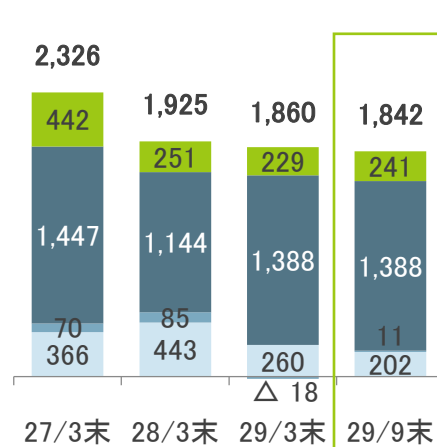
評価損益
(その他有価証券)

● 2行合算

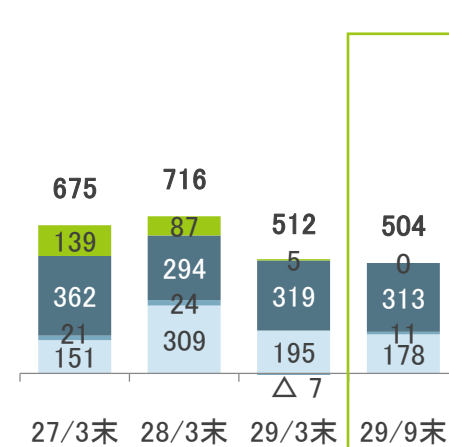
(単位:億円)



● 常陽銀行

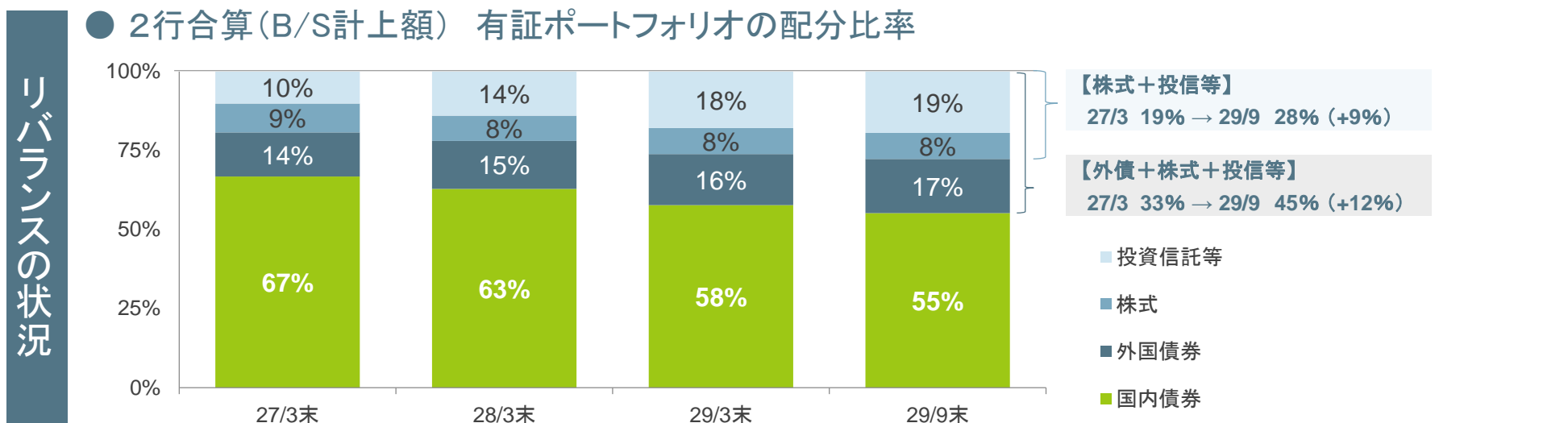
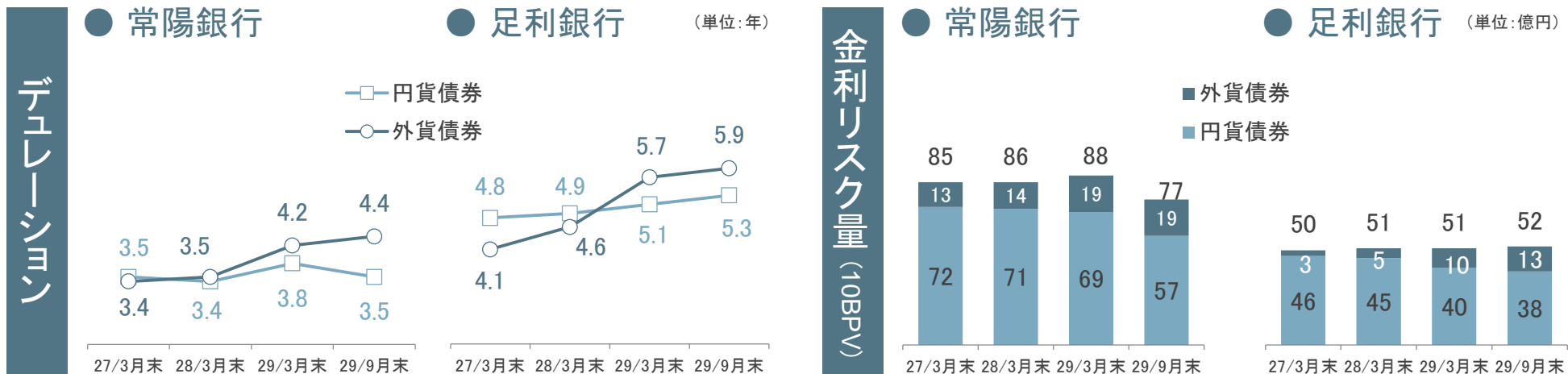


● 足利銀行



有価証券運用(2) 金利リスク、リバランス

◇ 外国債券は、国債・政府保証債等を中心とした運用。ファンドは、日本株・外債等を中心とした運用。



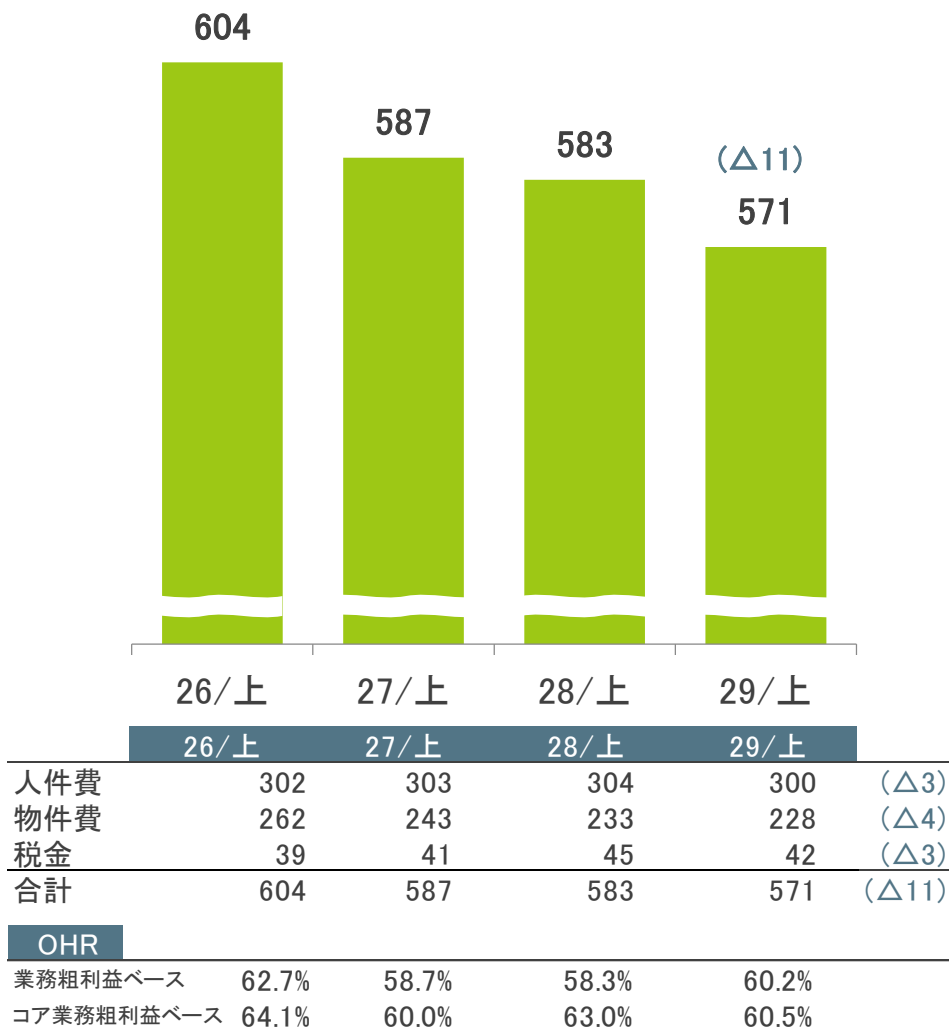
経費・OHR

*カッコ内は前年度比の増減率

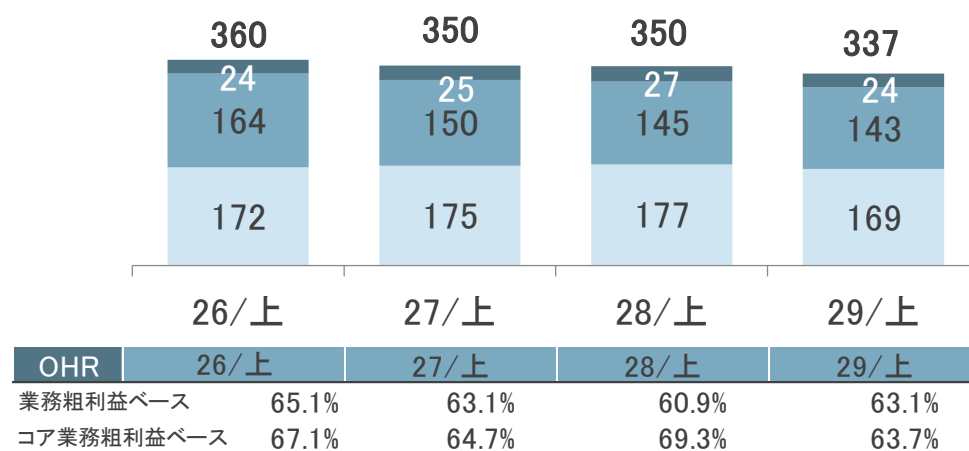
◇ 経費は、各種経費削減策の展開や、預金保険料の減少等を主因に、前年同期比△11億円(2行合算)。

● 2行合算

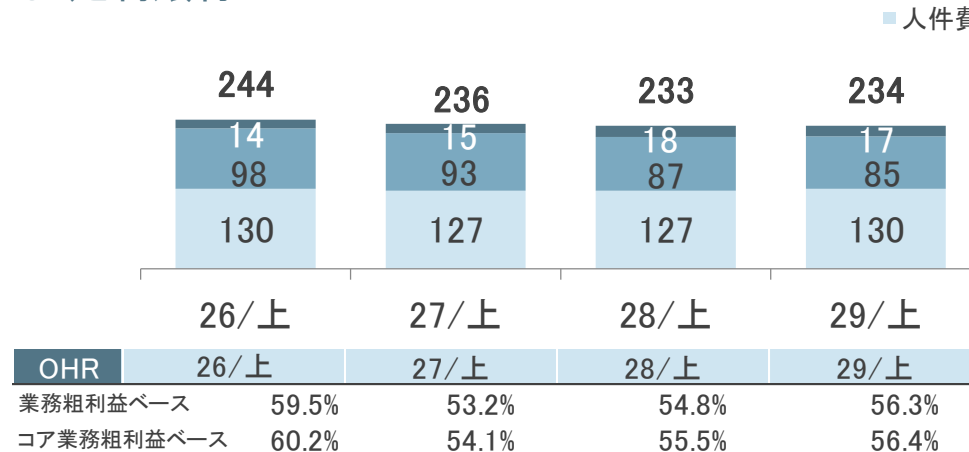
(単位:億円)



● 常陽銀行



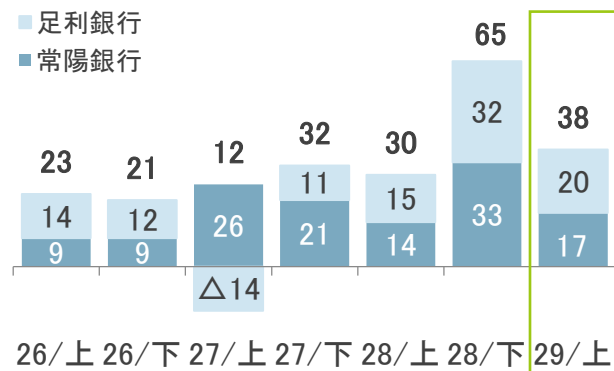
● 足利銀行



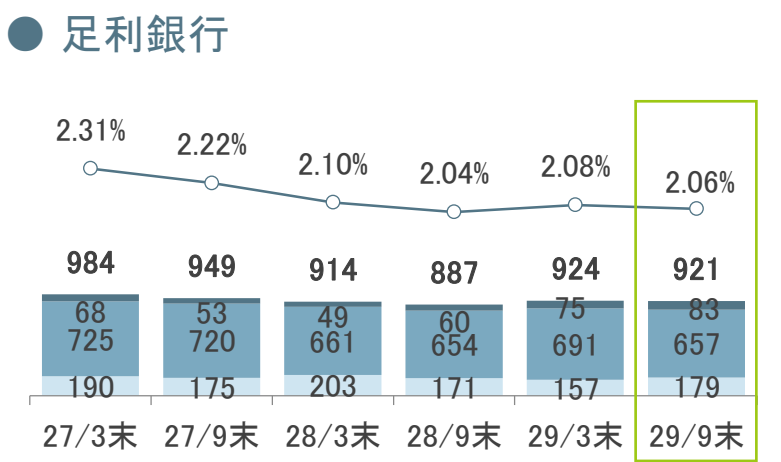
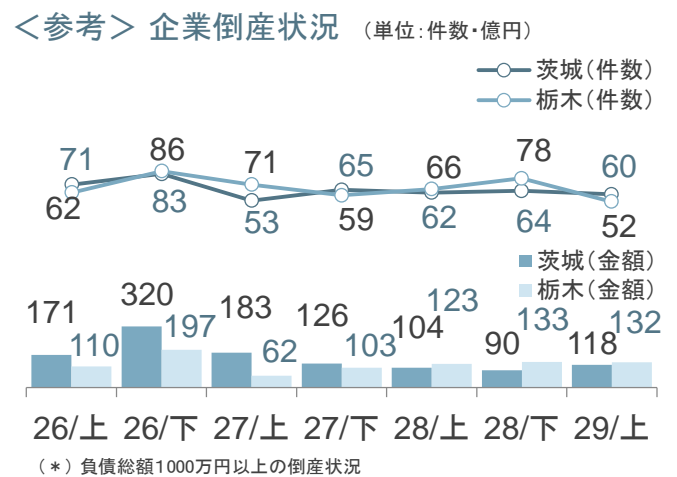
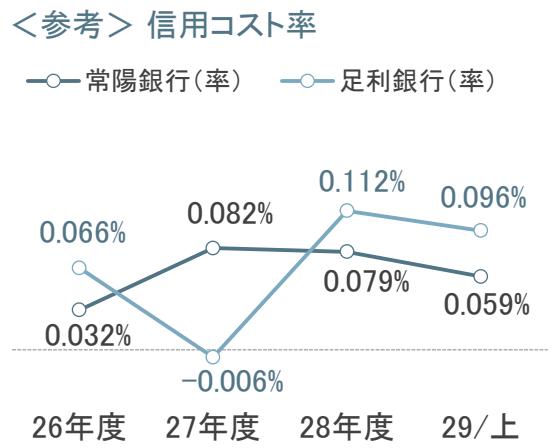
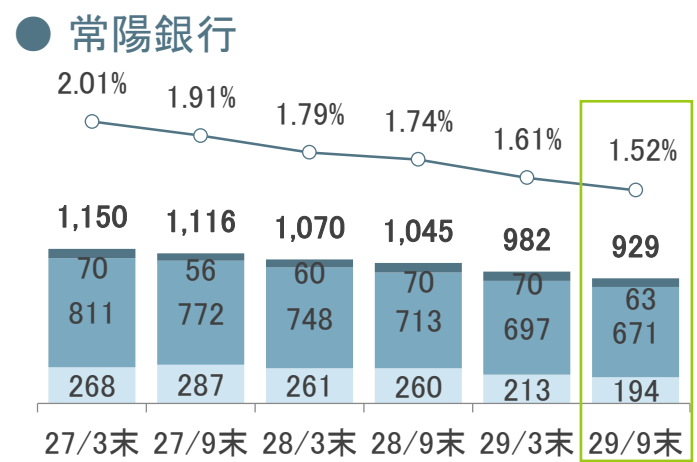
信用コスト・開示債権

◇ 信用コストは前年同期比+8億円(2行合算)。引続き、企業倒産状況(茨城県・栃木県)は落ち着いた状態。

信用コスト (単位:億円)



開示債権 (単位:億円)



統合シナジーの進捗(P/L上の効果)

- ◇ 経営統合シナジーは、29年度計画27億円に対し、上期は21億円(進捗率78%)と計画を上回って推移。
- ◇ 30年度以降の計画達成に向け、順調に進捗。

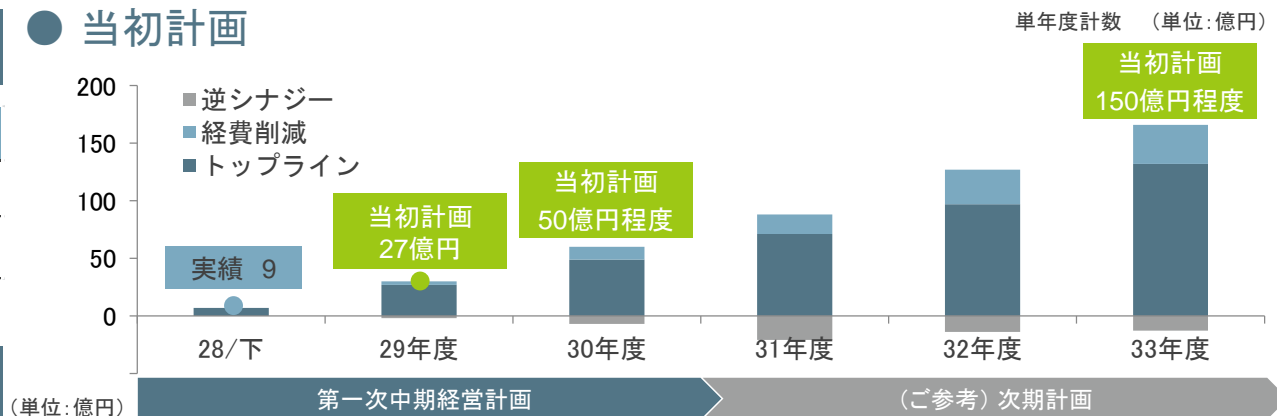
PL上の効果 (税引前)

	金額
29通期 計画	+27億円
29/上 実績	+21億円(進捗率78%)

29年度(上期実績・通期計画)

項目	通期計画	上期実績	進捗	具体的な施策
貸出金・法人役務	10.3	7.7	74.4%	・広域ネットワークを活用した情報営業強化⇒協調融資、シンジケートローン、取引先紹介、成長分野(医療・福祉等) ・めぶきリース機能の相互活用 ・非対面営業ノウハウ共有(無担保ローン) ・ネット申込専用住宅ローン共同開発、女性向け住宅ローン共同展開
預り資産	8.5	4.0	47.4%	・預り資産推進ノウハウの共有 ・めぶき証券機能の相互活用
有価証券	7.0	2.9	41.6%	・各行の投資経験を活かした新領域への投資、新調達手法の取組み ・共同投資の取組み ・モニタリングやパフォーマンス評価の分析手法共有による運用・管理手法の高度化
その他(チャネル・市場国際等)	2.5	5.5	215.0%	・重点地域の人員増強 ・クロスボーダーローンの取組強化 ・足利銀行における特約付外貨預金の販売ノウハウ活用 ・外貨預金キャンペーンの実施
経費削減	3.0	3.9	132.0%	・経費削減ノウハウ、費用対効果手法の共有 ・情報共有による価格交渉力の向上 ・店舗運営効率化のノウハウ共有 ・東京事務センターの統合 ・手形・小切手、キャッシュカードの共同発行
コスト増加・逆シナジー	△3.7	△2.2	-	・2行間における振込手数料の本支店化扱い ・減価償却費、ランニングコストの増加
シナジー合計	27.7	21.8	78.9%	

● 当初計画



グループ会社(めぶきリース・めぶき証券)

銀行業以外のグループ会社の決算概要

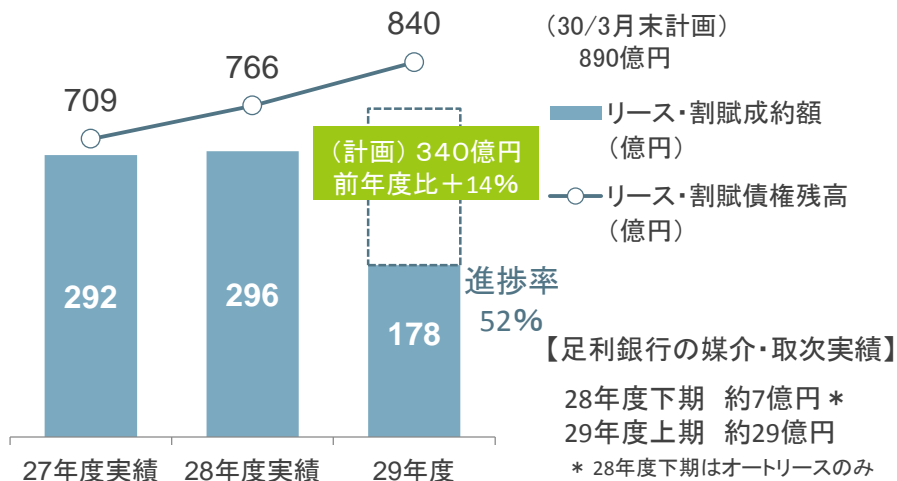
(単位:億円)

	29年度 中間期	進捗率	業績予想 (通期)	内訳
経常利益	32	-	-	-
中間純利益	21	52.8%	40	めぶきリース 3億円、めぶき証券 3億円 常陽信用保証 6億円、足利信用保証 5億円、その他3億円

めぶきリース

- 29年4月 常陽リースから「めぶきリース」に商号変更。FGの100%出資子会社化。
- グループ内のリース事業の再編(一本化)
- 栃木県内の営業体制強化(宇都宮・足利・小山の3営業部体制に)

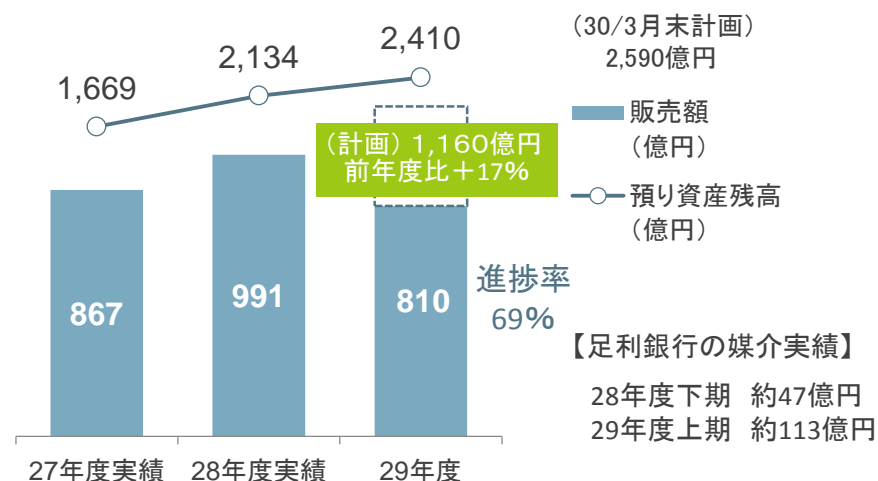
● リース・割賦成約額、債権残高



めぶき証券

- 29年4月 常陽証券から「めぶき証券」に商号変更
- 足利銀行との金融商品仲介業務取扱店舗を、従来の13店舗から128店舗に拡大
- 29年10月 FGの100%出資子会社化。宇都宮支店を開設

● 販売額、預り資産残高



29年度業績見通し

- ◇ 29年度業績見通しは、当初公表(29年5月12日)から変わらず。
- ◇ 連結経常利益585億円(前年度比+62億円)、連結純利益*1400億円(同△1,184億円*2)を計画。

*1 親会社株主に帰属する当期純利益

*2 28年度は経営統合に伴う「負ののれん発生益」1,192億円を特別利益に計上

● めぶきFG連結

	29年度 中間期	進捗率	業績 予想 (通期)
経常利益	373	63.8%	585
親会社株主に帰属する 当期(中間)純利益	249	62.3%	400

● 2行合算+銀行業以外のグループ会社 (単位:億円)

	29年度 中間期	進捗率	業績 予想 (通期)
当期(中間)純利益	306	63.7%	480

● 2行合算(単体)

	29年度 中間期	進捗率	業績 予想 (通期)	前年度比
コア業務純益	372	59.1%	630	△39
経常利益	419	65.5%	640	△49
当期(中間) 純利益	284	64.7%	440	△68

● 常陽銀行(単体)

	29年度 中間期	進捗率	業績 予想 (通期)	前年度比
コア業務純益	192	59.0%	325	+16
経常利益	233	69.7%	335	△21
当期(中間) 純利益	157	68.5%	230	△14

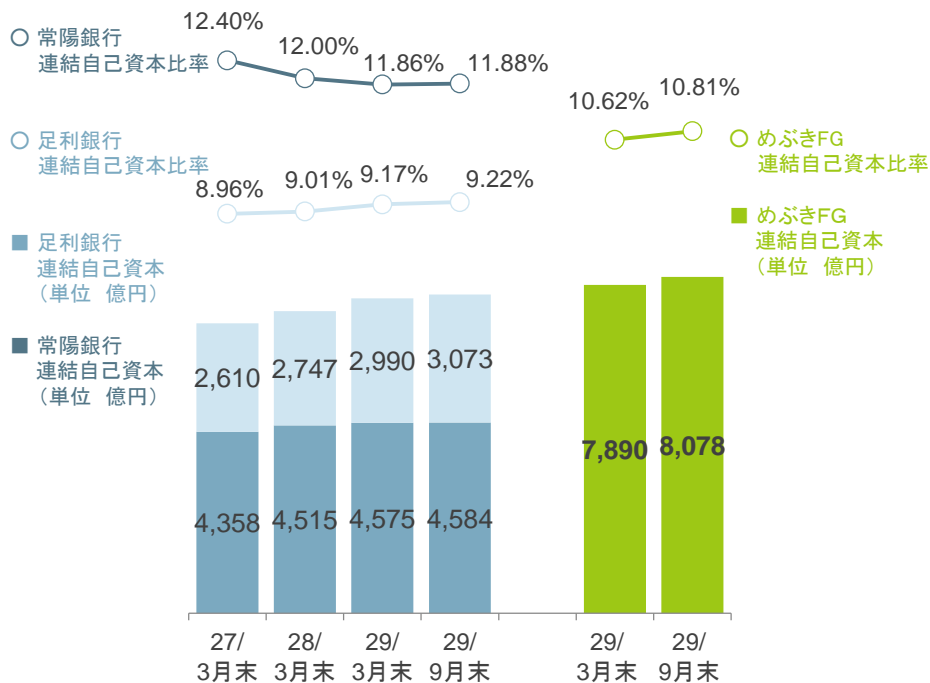
● 足利銀行(単体)

	29年度 中間期	進捗率	業績 予想 (通期)	前年度比
コア業務純益	180	59.2%	305	△55
経常利益	185	60.9%	305	△27
当期(中間) 純利益	127	60.5%	210	△54

自己資本比率・株主還元

自己資本比率

※信用リスクアセットの算出方法
 めぶきFG | 基礎的内部格付手法
 常陽銀行 | 基礎的内部格付手法
 足利銀行 | 標準的手法



<ご参考> 連結自己資本比率(経過措置なしの場合)

	26/3月末	27/3月末	28/3月末	29/3月末	29/9月末
めぶきFG	-	-	-	9.49%	9.68%
常陽	11.35%	11.51%	11.17%	11.52%	11.56%
足利	8.67%	8.64%	8.77%	9.00%	9.05%

配当政策

グループとしての成長に向けた資本の確保と、株主さまへの適切な利益還元のバランスを考慮し、安定配当を目指す。

29年度の配当は、配当政策を踏まえ年間11円を予定。
 (配当性向 32.3%)

【1株あたり配当の額】

29年度		
年間配当(予定)	中間配当	期末配当(予定)
11.0円	5.5円	5.5円

株主優待制度

【対象】 毎年3月末日時点で1,000株以上をお持ちの株主さま

【内容】 地元特産品等を記載の専用カタログから、保有株式数に応じてお好みの特産品をお選びいただけます。

【株主優待制度の概要】

保有株式数	特産品の金額目安	アイテム数
1,000株以上 5,000株未満	2,500円相当	茨城県・栃木県の特産品を中心に
5,000株以上 10,000株未満	4,000円相当	488アイテム
10,000株以上	6,000円相当	(各コースの合計)

※ 28年度常陽銀行株主優待実績 316アイテム

(ご参考資料)

(ご参考) めぶき F G 直近の姿



(ご参考) 格付け

○ R&I (格付投資情報センター)

めぶきFG	常陽銀行	足利銀行
A	A+	A+

○ムーディーズ

常陽銀行
A2

(ご参考) 主要インデックスへの採用

JPX400(平成29年8月31日組入れ)
日経株価指数300、日経500種平均株価、TOPIX、MSCIジャパンなど

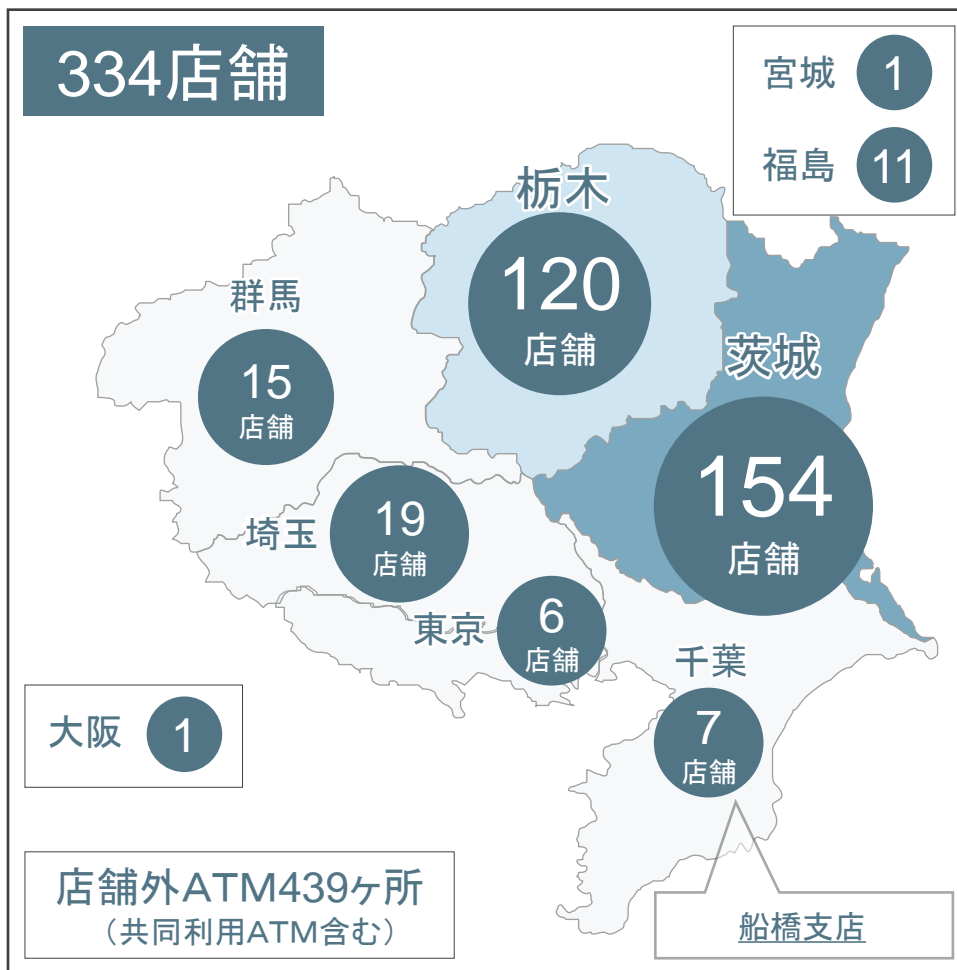
(ご参考) 国内店舗ネットワーク

(29年10月末現在)

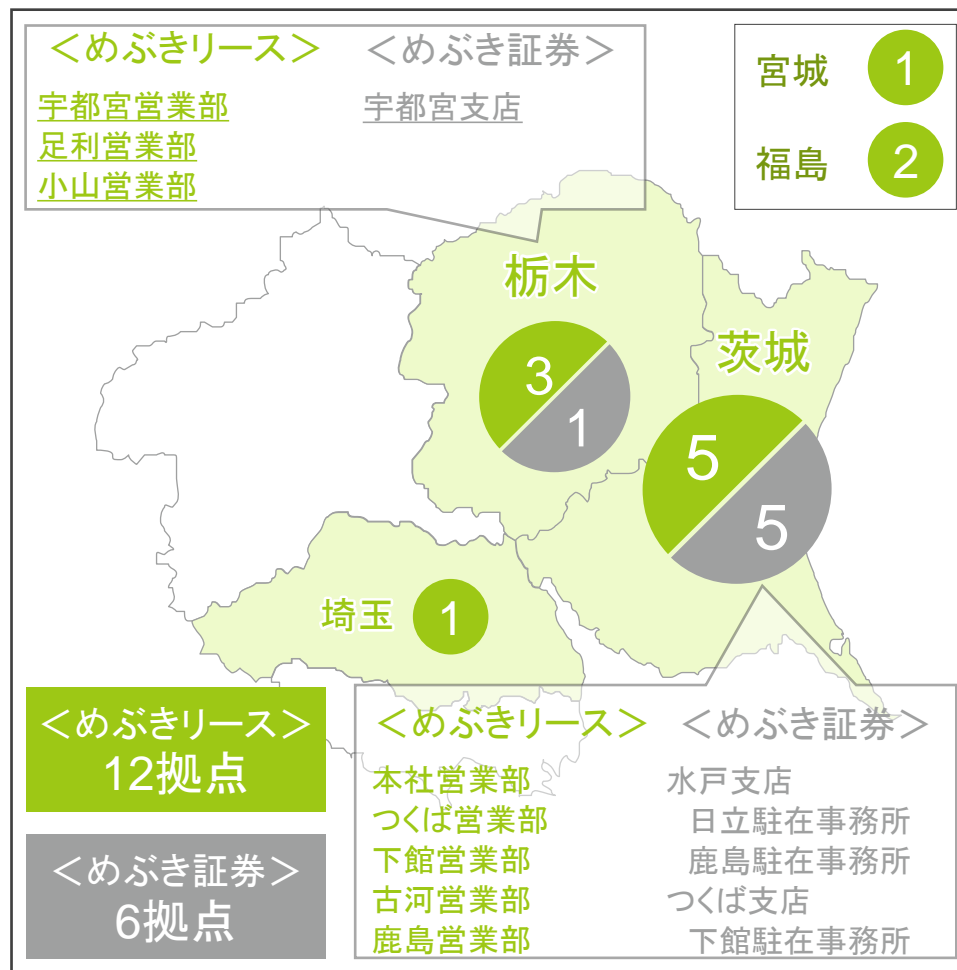
* 下線が経営統合(28年10月)後の新規出店

◇ 33年度までにグループ全体で15カ店の新規出店を計画。

● 銀行の支店数(2行計)



● めぶきリース/めぶき証券



(ご参考) 海外におけるネットワーク

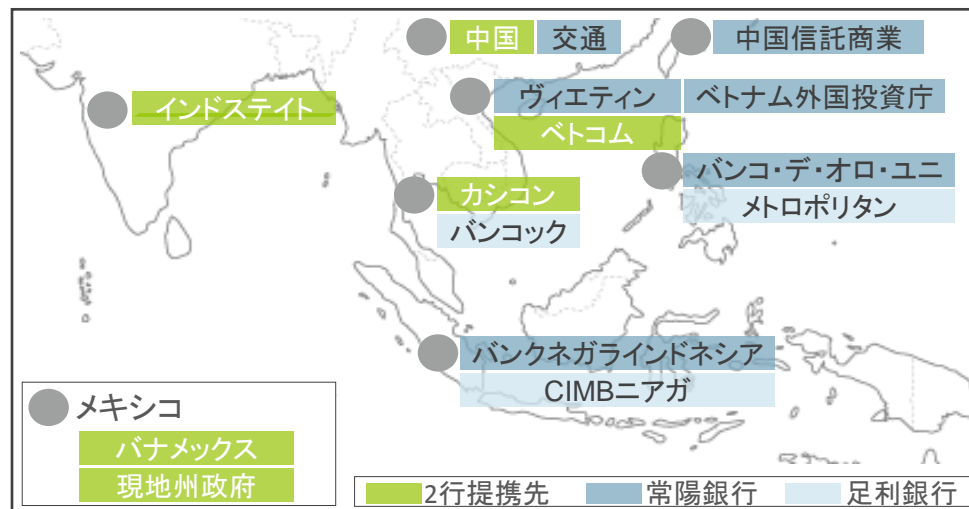
(29年10月末現在)

◇ 海外拠点網の充実を図り、お取引先さまの海外展開支援を強化。

● 海外拠点(駐在員事務所)



● 現地金融機関等との提携



● 海外展開支援

「Mfair バンコク 2017 ものづくり商談会」

(191社出展、10,655名来場)

「ハノイものづくり商談会」

(108社出展、2,878名来場)

「上海ものづくり商談会」

(462社出展、31,568名来場)

- お取引先さまの海外販路拡大を支援
- 出展企業と現地企業等の間で活発な商談

(ご参考) 地方創生 (1) めぶきビジネスアワード

- ◇ FG発足を記念し、両行で開催してきたビジネスコンテストを統合。
- ◇ 両行の広域な営業エリアに潜在する革新的・創造的な事業プランを募集・表彰。
- ◇ 事業プラン作成、事業立ち上げに至る一貫した支援を展開。
- ◇ 大学発ベンチャー創出支援のために「GAP基金」の枠組み導入(29年11月)。

第1回めぶきビジネスアワード 開催

募集対象	ものづくり、アグリ・6次産業化、 環境・エネルギー、医療・介護、 先端技術、海外進出、 地方創生・地域資源の活用・女性活躍、 創業分野 など
主催等	主催 めぶきフィナンシャルグループ 常陽銀行、足利銀行 共催 常陽産業研究所 あしぎん総合研究所

応募件数
646件

常陽銀行344件
足利銀行302件



最終審査会(5月15日開催)

○プレゼンテーション、外部審査員による審査

最優秀賞

株式会社MCBI (茨城県つくば市)
認知症の早期発見と予防につながる事業プラン

優秀賞

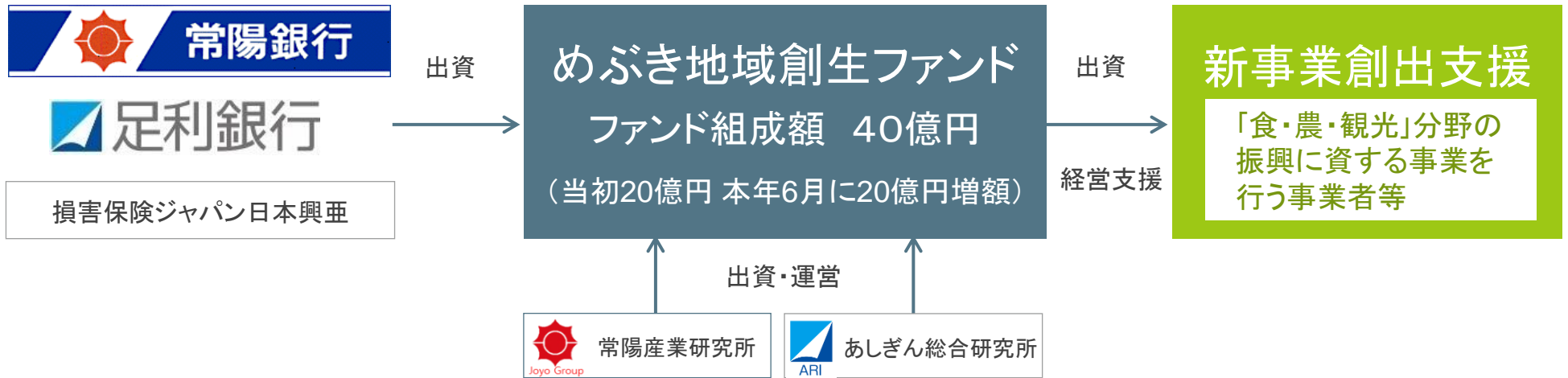
sid株式会社 (埼玉県川口市)
株式会社染めQテクノロジー (埼玉県幸手市)
株式会社フクル (群馬県桐生市)

その他

特別賞5件、奨励賞19件

受賞プランの事業化に向けた支援

(ご参考) 地方創生 (2) めぶき地域創生ファンド



実績

10月末日現在:合計6件
投資額14億円

具体的な案件

- ① 有限会社ワールドファーム(つくば市)
投資日:29年1月 投資額:100百万円
- ② 株式会社HATAKEカンパニー(つくば市)
投資日:29年3月 投資額:200百万円
- ③ 株式会社エスエスフードインターナショナル(市川市)
投資日:29年4月 投資額:200百万円
- ④ 株式会社早川ホールディングス(足利市)
投資日:29年4月 投資額:700百万円
- ⑤ 株式会社ひびき(川越市)
投資日:29年6月 投資額:100百万円
- ⑥ 株式会社アトック(常総市)
投資日:29年9月 投資額:100百万円

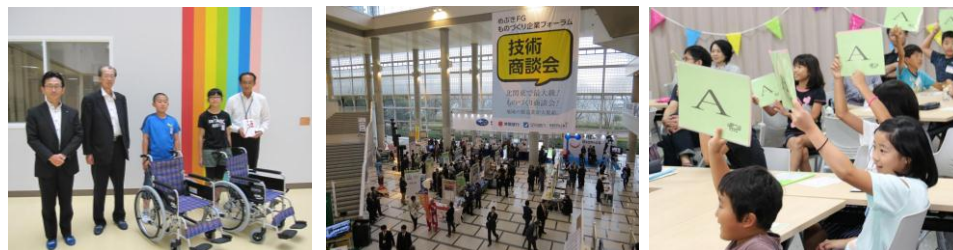


(ご参考) ESGの取組み

◇ 中長期的な企業価値の向上を目指し、ESGについて積極的な取組みを実施。

Social【社会】

- 寄贈サービス付私募債の取扱い
- 地元スポーツチームへのスポンサー支援
(鹿島アントラーズ、栃木SC、他)
- 各種商談会の共同開催
- 企業誘致、移住・定住促進支援
- アジア諸国における交流会・商談会の開催、拠点開設
- ワークライフバランスの推進と生産性向上【働き方改革】
- 女性役付者の登用、子育て支援
- 金融教育の普及 (体験学習、エコミクス甲子園、各種セミナー)



Environment【環境】

- 森林保全活動 (「足尾の山」「常陽ふるさとの森」植樹活動)
- 環境・新エネルギー支援
(環境格付融資、太陽光発電事業向け融資等)
- 新築店舗の外壁や内装に地元産材を使用
- 環境保全団体への支援 (エコーいばらき、日光杉並木保護等)



Governance【ガバナンス】

- 監査等委員会設置会社、社外取締役の配置による
監査・監督機能の確保
- コーポレート・ガバナンス委員会の設置
(取締役会の諮問機関、社外取締役を中心に構成)
- コーポレート・ガバナンスに関する基本方針の公表

本件に関するお問合せ先

株式会社 めぶきフィナンシャルグループ 経営企画部

TEL 029-233-1151(代表)

E-mail ir@mebuki-fg.co.jp

URL <http://www.mebuki-fg.co.jp/>

【ご注意】

本資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定の有価証券等の売買を勧誘するものではありません。

本資料に記載された事項の全部または一部は予告なしに修正または変更されることがあります。

本資料には将来の業績に関する記述が含まれておりますが、これらの記述は将来の業績を保証するものではなく、経営を取巻く環境の変化などにより実際の数値と異なる可能性があります。